

一般質問

11月30日、12月3日の本会議で、24人の議員が、市政全般について一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。

「バランスドシティ三鷹」を推進せよ



自由民主クラブ 渥美 典尚 議員

議員 自治体運営は、様々な市民の暮らし方を尊重して行うべきだ。緑豊かな高環境の維持と、人為的な開発は相反する。高福祉施策を進めるには、他の施策を削減して財源を確保する必要がある。施策の実行や財源の配分にはバランスが重要である。所見を伺う。
市長 バランスを意識することは重要である。様々な施策が調和し補完し合い、市民満足度を更に向上させることが求められている。
議員 市立図書館の運営では、選書のバランスがとれていることが重要である。選書の仕方について伺う。
教育長 担当職員が市の収

地域社会の拠点となる学校づくりを推進せよ



自由民主クラブ 土屋 健一 議員

議員 本市では、地域住民等が学園運営に積極的に参加するコミュニティ・スクールの取り組みを進めている。コミュニティ・スクールの今後について伺う。
教育長 より一体感のある学園運営の推進を図ってお

だ。コミュニティ・スクールとスクール・コミュニティの関係について伺う。
教育長 本市のコミュニティ・スクールは、学校を核としたコミュニティづくりを目指している。学校での人と人との交流や学びと活動の循環を通じ、スクール・コミュニティを推進したい。
議員 学校を避難所として開設する際は混乱すること

認知症の程度に応じた適切な支援の充実を求める



自由民主クラブ 小俣 美恵子 議員

議員 認知症の初期段階と診断されても、介護サービスが必要になるまでの間に支援がなく、その空白期間が状態を悪化させていると聞く。認知症の程度に応じた対応をすべきだ。
市長 症状が進行する前の診断と対応が必要だと認識している。今後、認知症サポート医などと連携し、必要な支援を進めたい。
議員 介護サービスを受けられるようになる前から、認知症の人を早期に支援すべきだ。所見を伺う。
市長 介護サービスの利用前でも必要な支援が届かなければならないと考え、認知症ガイドブックを発行し

未来を担う子どもたちの道徳教育について伺う



自由民主クラブ 伊東 光則 議員

議員 学校教育における児童・生徒の健全育成は非常に重要なものと考えている。小・中学校の教科書選定の

観的な調査研究を行い、8月の教育委員会において採択している。また、直接保護者から意見を聞き取る懇談会を設けるなど、広く市民から意見を求めている。
議員 特別の教科道徳の教科書選定における基準等、選定の具体的流れを伺う。
教育長 教科用図書採択要綱に基づき幅広く議論を行い、総合的な判断のもと、子どもたちに最も適した教科書を選定している。
議員 特別の教科道徳における目標の設定と中学修了時の評価について伺う。
教育部長 道徳的価値の理解をどう深めているか等、成長の様子を数値による評価ではなく、担任や管理職教諭の総合的な判断により記述式で評価している。

高環境な将来に向けた農あるまちづくりの推進を



自由民主クラブ 伊藤 俊明 議員

議員 平成29年の生産緑地法の改正により創設された特定生産緑地制度は、緑豊かな高環境を守る制度だ。指定を受けるメリットが農業者に十分理解されること重要であり、一層の情報提供や支援が求められる。都市計画課、農業委員会、JA等の連携による取り組み状況について伺う。
市長 農地が適切に、更に継承されるよう、JA等と連携して農業者に漏れなく



三鷹市内の農地

議員 北野の里(仮称)の整備に向け、ゾーニングが確定した。今後更に、地元住民をはじめ市民意見の把握と反映を図りながら、より具体的に検討する必要がある。所見を伺う。
市長 地元住民等の声を反映した整備の実現に向け関係機関と連携し取り組む。

長期的な財政の視点から公共施設の維持管理を問う



自由民主クラブ 後藤 貴光 議員

議員 今後の財政的な課題や多様化する市民ニーズに対応する上で、本市の公共施設の維持保全、ファシリティー・マネジメントの推進は重要な課題だ。これまでの取り組みの成果を伺う。
市長 三鷹市都市再生ビジョンを策定し、施設の耐震補強や集約化を進めてきた。三鷹中央防災公園・元気創造プラザの完成など、施設の複合化等を果たすことで一定の成果が結実した。
議員 平成29年に策定した三鷹市公共施設等総合管理計画の活用について伺う。
市長 施設の老朽化や財政事情が厳しさを増す中、主要な公共施設の建物概要、

本市の意見を尊重した道路建設を都に求めよ



自由民主クラブ 吉野 和之 議員

議員 三鷹都市計画道路3・2・2号(東八道路)と放射第5号線との接続部分周辺の道路整備において、都は本市で環境アセスメントを実施しないなど、区部と市部とで対応に違いがあった。この点を都に強く主張し、着実な対応を求めたい。
市長 対応に違いが生じたことは極めて遺憾である。情報提供も説明も不十分であり、都に対して継続して強く申し入れをしている。
議員 3・2・2号線の開通により生活道路が抜け道と